

【分析室に設置されている主な機器】

- ◆ 高速液体クロマト（HPLC）7台（島津製：水系あるいは有機溶媒系カラム付，屈折率及び蛍光検出器，分析あるいはセミ分取用）
- ◆ ガスクロマト（島津GC-2014）
- ◆ キャピラリー電気泳動装置（Beckman Coulter製）
- ◆ 旋光度計（日本分光製）
- ◆ 高精度密度計（アントンパール製DMA5000M）

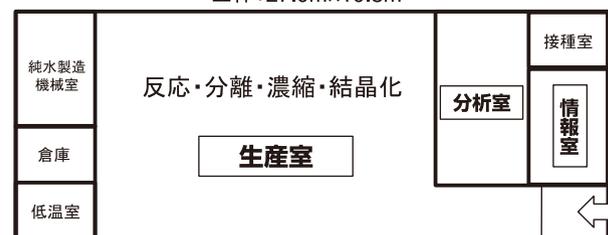


香川大学国際希少糖研究教育機構

「希少糖研究」で世界をリードする本学は、希少糖生産技術研究を強化して、特保関連食品、医薬品、農業資材などを中心とした希少糖用途開発の研究を今まで以上に推進し、さらにこれらの研究成果を国際発展して、広く社会に提供することを目指す。



全体：27.0m×10.8m



竣工：2006年7月 分析室整備：2011年10月
共用施設整備：2012年5月

香川大学国際希少糖研究教育機構 希少糖生産ステーション

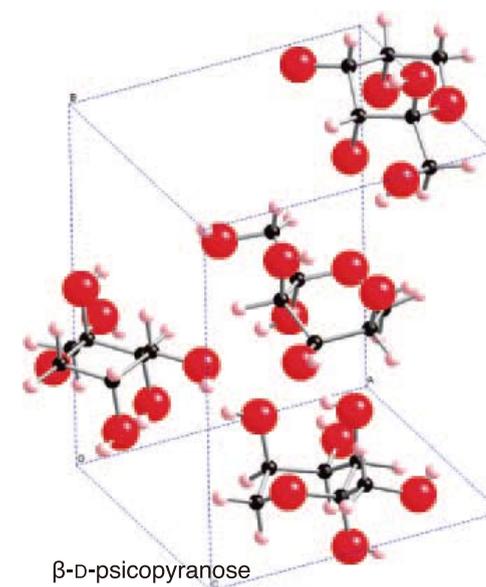
〒761-0795香川県木田郡三木町池戸2 3 9 3

Tel/Fax 087-891-3291

URL: <http://www.kagawa-u.ac.jp/IIRSRE/>

希少糖生産ステーション Rare Sugar Production Station

希少糖の生産と分析に特化したステーションであり、このような施設は世界に他に類をみない。



香川大学 国際希少糖研究教育機構

分析室 Analysis

生産ステーションにおける分析機能は、希少糖の生産条件の確立や、生産した希少糖の純度・性状評価において必須である。様々な希少糖の効率的・高精度な分析法の開発は希少糖研究における重要課題の一つであり、本分析室の機器を駆使して新たな糖分析法の研究を推進する。

当分析室に設置されている多くの分析機器は、単糖を含んだ溶液の分析用に特化したものとして2011年度に整備され、2012年5月より希少糖研究を行う学内外の研究者が共同利用可能な設備として開放されている。



情報室 Information & Communication

生産ステーションにおける情報室の役割は、①分析室で得られた実験データの一元管理、②希少糖に関する様々な情報の蓄積・保存と閲覧、③希少糖に関する情報交換を行う開放スペースとしての活用である。

情報室には実験データの保存解析用に2台のデスクトップコンピュータ、プレゼンテーション表示用に42インチ液晶ディスプレイとノートパソコン1台が設置されており、十数名程度でのセミナーや相談会が行えるスペースがある。

生産室 Production

コンセプト：希少糖を生産する全工程を一つの実験室で行い、安全性及び教育的配慮をした施設とする。

希少糖D-プシコースの生産工程 (希少糖生産の一例)

